

## 工事完了確認・試運転

- 取付状態を再度確認します。
- 使用電源、アース線の接続を確認してから電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 処理機本体の電源スイッチを入れ、水を流し、ゴミ受けスイッチをセットして、処理機が正常に「運転」「停止」し、異音が発生していないか、排水管接続部分名所から水漏れがないか確認します。
- 生ゴミ処理機の吸気口から正常に吸気が行われているか確認してください。

## お客様への説明

- 同梱の「取扱説明書」「保証書」「取付工事説明書」などは、取付工事完了後お客様に内容を説明し、いつでも取出せる場所に「保管」するように依頼してください。
- ご使用方法、お手入れ方法などは、取扱説明書にしたがってお客様に具体的に説明してください。

### 注意事項

本工事説明書の注意事項の内容（特に屋外または排水管への排気不良や排水に異常があるシンクへの取付禁止など）を無視、あるいは確認を怠ったままで本生ゴミ処理機を取り付けた場合や一般常識を外れた施工・取付工事を行った場合には、保証期間内であってもトラブルの原因がこれらの内容によるものであれば、修理及び部品交換などのメーカー保証は受けられません。

## 有限会社 アースウェイ

〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1053番地 TEL・FAX (0857) 30-4551

○当社では生ゴミ処理機について日々研究を行い、処理装置の改善、改良を行っています。そのため購入の時期により仕様が異なる場合があります。

NIS-14171

NIS-14172 (100V-200V共通)

家庭用生ゴミ処理機

# 取付工事説明書

取付工事前に最後までお読みになり、正しく取付けてください。

### 工事をされる方へ

■この工事説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

特に「安全上の注意」・「施工前のお願い」は、設置前に必ずお読みいただき、安全に設置してください。正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

●電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。●工事終了後は、必ず本書をお客様にお渡しください。

### 安全上の注意

○安全に関する重要な内容ですのでよくお読みの上、必ずお守りください。

誤った取付けをしたときに、死亡や重傷など重大な結果に結びつく可能性が大きいものを「△ 警告」の範に、状況によっては重大な結果に結びつく可能性のあるものを「△ 注意」の範にまとめてあります。



### 警告

- 取付けは、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- お客様ご自身で取付工事をされ、不備があると感電・火災・水漏れの原因となります。
- 取付工事は、この「取付工事説明書」に従って確実に行ってください。
- 取付に不備があると、感電・火災・水漏れの原因となります。
- 生ゴミ処理機の設置には、この製品の重量に十分耐えられるシンクに確実に設置してください。
- アース工事は必ず行ってください。
- アース線は、ガス管・水道管・避雷針や電話のアース線などに接続しないでください。
- アース付コンセントに交換してください。また電源プラグにはホコリが付いていないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。
- 設置工事部品は必ず付属部品および指定の部品を使用してください。
- 当社指定の部品を使用しない場合、故障・感電・火災・水漏れの原因となります。
- 電源コードを破損したり、加工しないでください。



### 注意

- 可燃性ガスの漏れる恐れのある場所に設置しないでください。
- ガスが漏れて処理機周辺に溜ると、爆発の原因となることがあります。
- 指定以外の電源を使用しないでください。
- 火災や事故の原因となります。
- 取付工事前には屋外又は排水管への排気確認や、その点検清掃を必ず行ってください。
- 屋外又は排水管への排気が不良の場合、悪臭が発生します。
- 排水管への排水が良好でないシンクには、本生ゴミ処理機の取付はできません。  
施工前に必ず排水管の清掃を行ってください。

### 施工前のお願い

生ゴミ処理機の設置には、施工するシンクから屋外または排水管への排気が可能であることと、排水が良好であることが前提となります。

工事前には必ず取り付けようとしているシンクの事前調査をしてください。

●屋外又は排水管への排気確認 ※下ページの排気方法も併せて確認し、施工してください。  
(機構上、屋外又は排水管へ排気ができないと本生ゴミ処理機は使用できません。)

○排水途中の排水マスなどでトラップ(封水)になっていると排水管へ排気できません。  
シンクと排水管を共有する全ての排水を必要とする設備(洗面台や洗濯機など)には排水管接続部分の気密が必要となります。気密が不完全だと悪臭洩れの原因となります。

●排水管の排水状況の確認 (排水が良好でないシンクでは本生ゴミ処理機は使用できません。)

○施工しようとするとするシンクの排水管の汚れ状態を目視で点検し、汚れがひどい場合には必要に応じてワイヤー式のパイプクリーナーなどで排水管の清掃を行ってください。  
清掃後は、シンクの水道を全開にして流した水がたまってこないこと(給水量より排水能力の方が勝っている状態)を確認します。

上記の2点が良好であることを確認するまでは施工をしてはいけません!!

# 施工前に必ずお読み下さい

まず最初に排気の方法を決め、排気配管の工事をします。

- ◎この生ゴミ処理機は、乾燥ドラム内の生ゴミ乾燥臭及び水蒸気を屋外に排気することを特長としております。（最重要項目です）
- ◎配管工事が出来ない場合は取付不可です。
- ◎排気の方法は次の3通りより選んで決めて下さい。

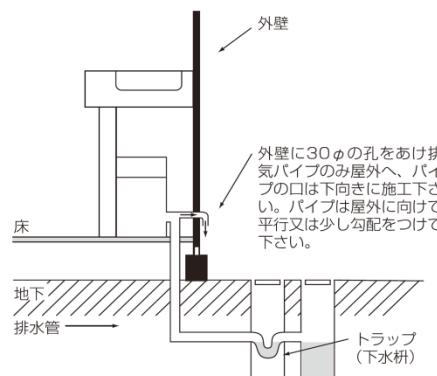
## ①生ゴミ処理機をシンク下に設置する場合

|                | 新築 設 置 |       | 後 付 設 置 |       |
|----------------|--------|-------|---------|-------|
|                | 戸建     | マンション | 戸建      | マンション |
| Ⓐ シンク下より屋外に排気  | ○      | ○     | ○       | ×     |
| Ⓑ シンク下より床下に排気  | ○      | ×     | ○       | ×     |
| Ⓒ シンク下より排水管に排気 | ○      | ○     | ○       | ○     |

各排気方法の工事例を図示致します

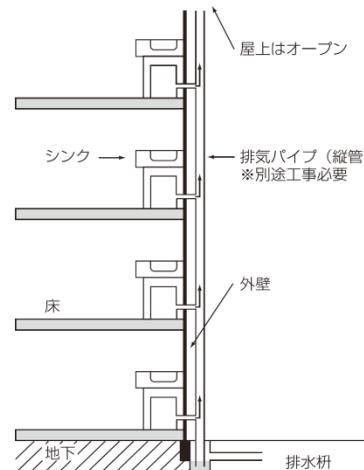
## A シンク下より屋外に排気

### ① 戸建（新築・後付）の場合



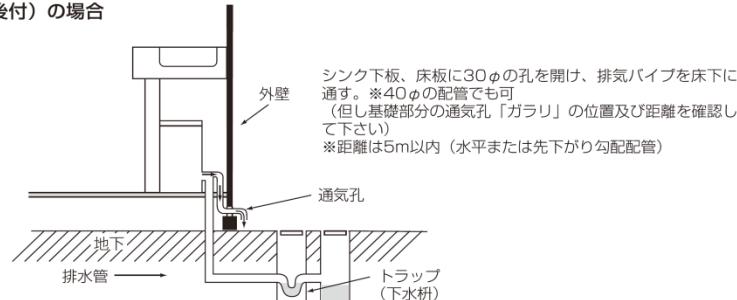
水蒸気が外気温による冷却効果で液化してトラップになるのを防ぐ為に、排気パイプはいずれの工事でも水平または先下がりの勾配施工で途中でのたるみの無い様にして下さい。

### ② マンション（新築）の場合



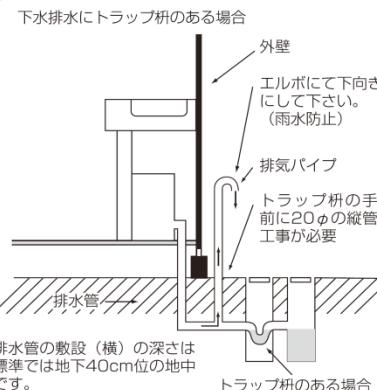
## B シンク下より床下経由の排気

### 戸建（新築・後付）の場合



## C シンク下より排水管に排気

### ① 戸建（新築・後付）の場合

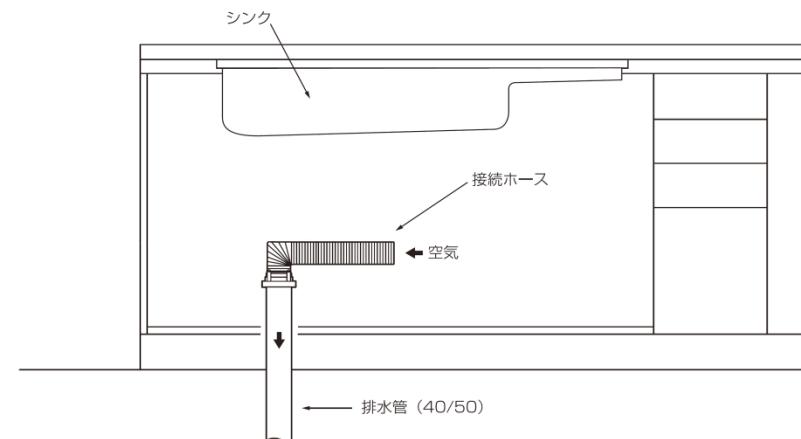


### ② マンション（後付）の場合

台所排水につながっている横引き排水管に接続している他の排水管（洗面所・風呂・トイレ・洗濯機等）は、全て個々にトラップ（封水）施工が必要です。トラップ（封水）施工でない箇所（特に洗濯機・風呂の溢水パイプ等）ではバテ等のコーティング剤にて空気洩れ（臭い洩れ）のない様密封施工が重要です。

## 排水管（下水管）等への排気（通気）確認の方法

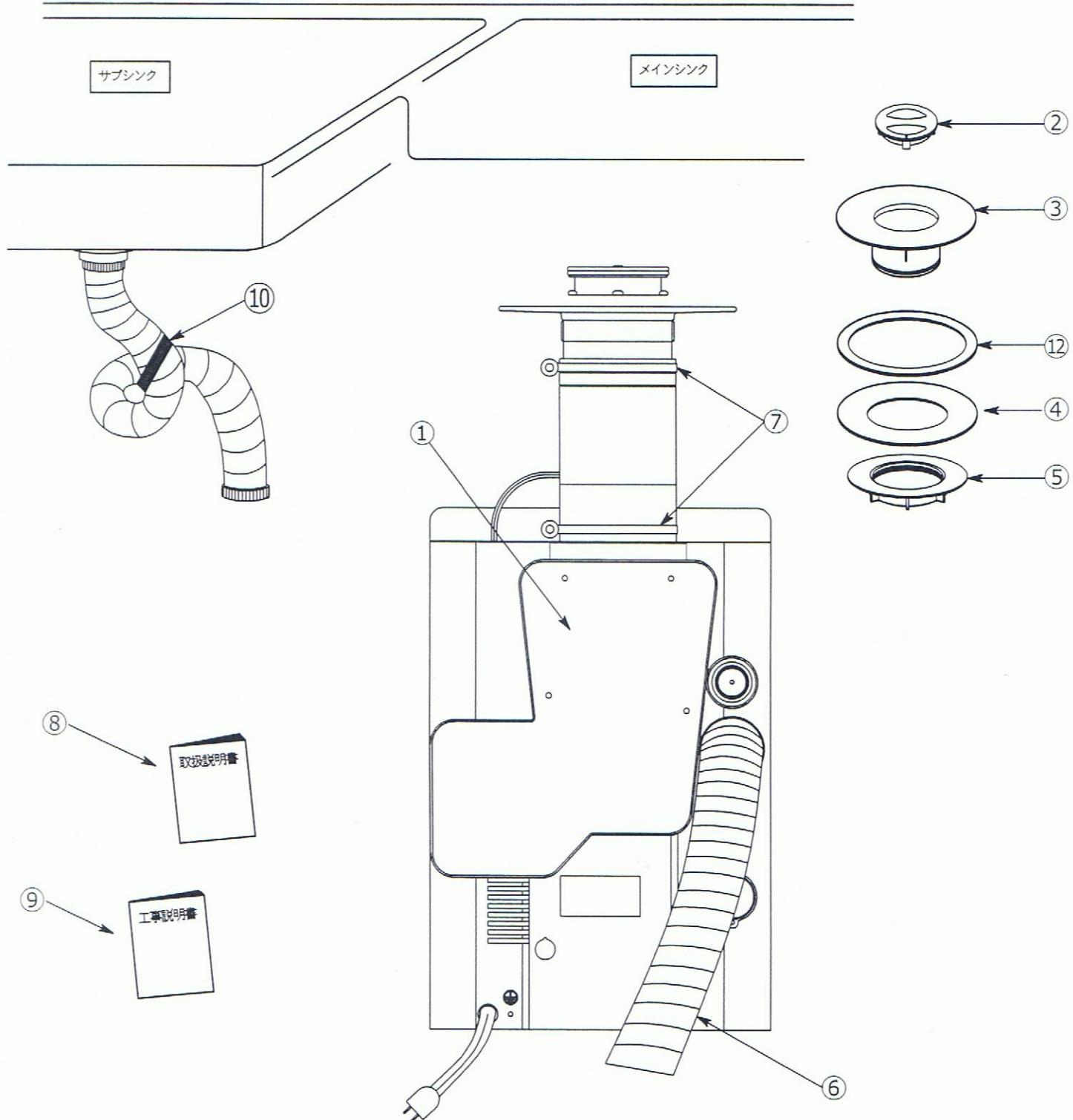
既存の排水ホースを外して、排水管にバルブソケットと排水ホースを仮設置し、そこから息を吹き込んで排気を確認し、排気が抜けない（トラップ等になっている）場合は、吹き込んだ空気が戻ってきます。



# 据付図

(標準的な施工の一例)

# (部品リスト)



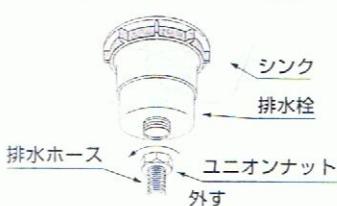
| 番号 | 部品名      | 数量 | 番号 | 部品名                | 数量  |
|----|----------|----|----|--------------------|-----|
| ①  | 本体       | 1  | ⑦  | ワイヤーバンド            | 2   |
| ②  | 蓋スイッチ    | 1  | ⑧  | 取扱説明書兼保証書          | 1   |
| ③  | シンクアダプター | 1  | ⑨  | 工事説明書              | 1   |
| ④  | サポートフランジ | 1  | ⑩  | ビニールテープ(別売)        | (1) |
| ⑤  | サポートリング  | 1  | ⑪  | φ38排水ホース 長尺のもの(別売) | (1) |
| ⑥  | φ38排水ホース | 1  | ⑫  | シンクパッキン(既存のものを使用)  | (1) |

# 工事手順

流し台内部にAC100V・15A接地端子付コンセントが必要です。

電源がない場合には、生ゴミ処理機専用の電源としてコンセントを用意してください。

## ①排水栓を取り外します



- ①排水栓のユニオンナットを緩めて、排水ホースを取り外します。

注) 排水ホースはジャバラ塩ビホースではなく塩ビ硬管の場合もあります。



- ②排水栓継付金具をプラスチックハンマーなどでたたいて緩め、排水栓から取り外します。

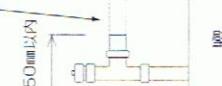
- ③排水栓を取り外します。

※排水栓はトラップ(封水)になっています。抜取る際にはシンク内にバケツなどを置いて水を受けてください。

塩ビ管にて直接排水されている場合

お客様のご承諾の上排水管を切断してください。

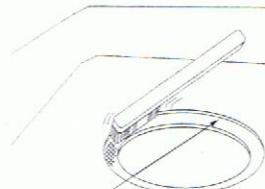
排水管



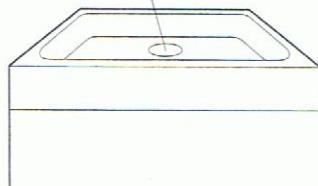
排水管



## ②シンクフランジを取り付けます



排水口が丸型でない(楕円型)場合、別売アダプターがあります。

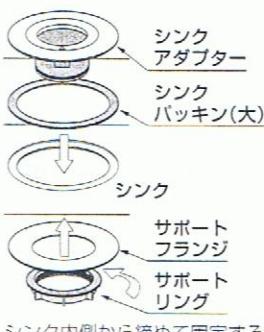


この面が腐食し欠落しているシンクには、正しく取付けても水漏れする場合があります。お客様のご承諾の上でシリコンコーティングなどでシールしてください。

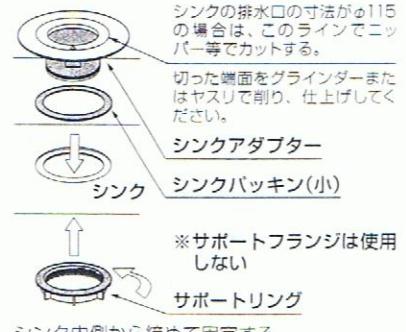
①排水栓を外した部分の汚れやサビは、ワイヤーブラシなどでみがいてください。

### シンクアダプターの接続方法

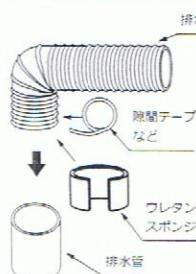
#### ①シンク排水口がφ180の場合



#### ②シンク排水口がφ115の場合



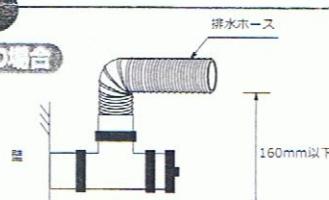
## ③排水ホースを排水管へ接続します



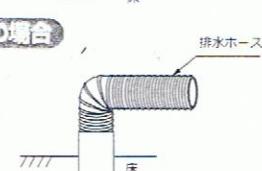
※排水管とシンクの床穴が大きくズレている場合は、新たな穴をシンク床穴に開け、ホースが無理なく排水管へ接続できるようにして下さい。

排水ホース外周の凹部に、臭気漏れを防ぐため、隙間テープなどを1周以上巻く。

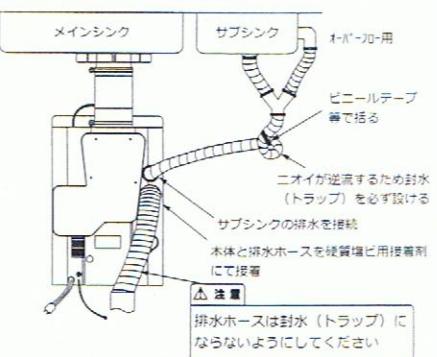
### 壁排水の場合



### 床排水の場合



### 排水ホースの接続方法



## ④本体を接続します

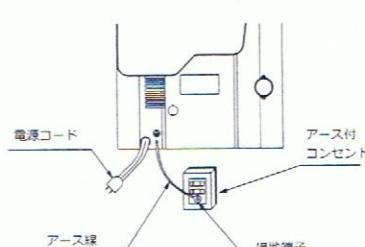
- ①本体にシユーターをはめ込み、ワイヤーバンドで締め付けます。  
②シンクに設置したシンクアダプターをシユーターにねじ込みます。  
※あらかじめシユーターの長さを調節(必要に応じて切断)してください。  
③シユーターが亞んだり、食毒がかからないように処理機本体の位置を調節し、ワイヤーバンドで固定します。  
④ワイヤーバンドの締め付けが不十分だと水漏れの原因となりますので、しっかりと締めつけてください。  
⑤運転スイッチコードを接続します。



シユーター  
カットライン一般的なシンク底面に合うようカットラインを設けておますが、長い場合は、シンクに合う高さに切削してください。

## ⑤アース線を接続します

本体背面下部のアース端子に付属のアース線を接続し、接地端子に接続します。



## ⑥工事完了後の運転確認

1. 水道から水を出し、ホース接続部等より漏水が無いか確認する。

2. 黒水が無ければ、電源プラグを差し込み、処理機本体の電源スイッチを入れ、「電源ランプ」の点灯と、ファンの回転音を確認する。

3. 運転スイッチをシンクアダプターにセットし、処理機を運転する。

4. 動作に異常なければ、お客様に取扱説明書に沿って説明してください。

